

1. 本授業科目の基本情報			
科目名(コード)	医療会計		(TCM222)
講義名(コード)	TCM_医療会計		(TCM222)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	4
授業担当者	株式会社ソラスト	時間数	60
成績評価教員	株式会社ソラスト	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	調剤薬局において求められる調剤報酬請求に関する事務全般のスキルを身につけ、医療保険の仕組みから、接客マナーなどの幅広い知識と技能を修得する。
全体の内容と概要	医療保障制度や正確に調剤報酬を算定し請求できる知識、薬の基礎知識などの学習をする。また、社会人としての基本マナーや現場で必要とされる接客を身につける。
授業時間外の学修	知識の精度を上げるために必ず授業内容の復習をすること。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理能力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	医療保障制度、医療保険制度を理解する	オリエンテーション、調剤事務管理士の資格取得について 医療機関と薬局、医療保障制度、療養担当規則
2	保険給付の範囲と種類、その他の医療保障制度を理解する	保険給付、公費負担医療制度、労災保険、介護保険制度
3	調剤薬局事務の仕事を理解する	薬局の基礎知識、日常業務と請求事務
4	調剤報酬算定の基礎知識を習得する(1)	処方箋の基礎知識、薬剤の基礎知識
5	調剤報酬算定の基礎知識を習得する(2)	処方箋の読解、処方欄の見方、薬価基準表、算定に必要な用語
6	調剤報酬点数表と調剤報酬の算定を理解する	調剤報酬算定の基本項目、調剤基本料、調剤基本料の加算
7	薬剤料の計算方法等を習得する	薬剤料の点数換算、算定の単位、内服薬の算定
8	薬剤料、特定保険医療材料料の計算方法を習得する	薬剤料の算定、特定保険医療材料料
9	調剤料の算定を理解する	調剤料の算定と薬剤料の区分
10	調剤料の加算について理解する	調剤料の加算、調剤料の加算の重複
11	薬学管理料の算定を理解する	薬学管理料、薬剤服用歴管理指導料の加算
12	調剤報酬算定、会計表の記入を習得する	調剤報酬算定のまとめ、会計表の記入
13	会計表の記入を習得する	会計表の記入演習
14	調剤報酬明細書の作成手順を理解する	調剤報酬明細書の基礎知識、記入方法
15	調剤報酬明細書の作成を習得する	調剤報酬明細書の作成練習(基本)

16	調剤報酬明細書の作成を習得する	調剤報酬明細書の作成練習（応用）
17	調剤報酬明細書の点検手順を理解する	調剤報酬明細書の基礎知識
18	調剤報酬明細書の点検を習得する	調剤報酬明細書の上書き点検、内容の点検方法
19	調剤報酬明細書の点検を習得する	調剤報酬明細書の点検練習
20	薬の基礎知識、守秘義務を理解する	医薬品の基礎知識、守秘義務
21	調剤報酬明細書の作成、点検を習得する	調剤報酬明細書の作成演習、点検演習
22	調剤報酬明細書の点検（類題）	調剤報酬明細書の点検（問題集）
23	調剤報酬明細書の作成（類題）	調剤報酬明細書の作成（問題集）
24	後期の総括、学科試験問題（類題）	学科試験問題演習（問題集）
25	資格試験対策（学科試験）	学科試験問題演習、要点整理
26	資格試験対策（実技試験）	実技試験問題演習、要点整理
27	成績考課試験を実施する	成績考課試験（実技）
28	成績考課試験を実施する	成績考課試験（学科）
29	試験内容の復習を行う	試験のフィードバック
30	接遇マナーを習得する	接遇マナー、請求の電子化

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	テキスト1 医療保障制度、テキスト2 診療報酬の算定、テキスト3 トレーニングブック、資料ブック、薬価表、調剤報酬明細書、理解度チェック課題、過去問題集（株式会社ソラスト）
参考文献・資料等	
備考	調剤事務管理士資格試験に挑戦すること。

1. 本授業科目の基本情報

科目名(コード)	医療会計		(TCM222)
講義名(コード)	TCM_医療会計		(TCM222)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	4
授業担当者	株式会社ソラスト	時間数	60
成績評価教員	株式会社ソラスト	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	調剤薬局で求められる調剤報酬請求事務のスキルのほか、医療保険の仕組みや薬の基礎知識、接客マナーなどの幅広い知識と技能を修得する。
全体の内容と概要	調剤報酬点数と算定ルール、医療保険制度などの学習をする。また、社会人としての基本マナーや現場で必要とされる接客を身につける。
授業時間外の学修	知識の精度を上げるために復習をすること
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理能力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	医療保障制度、医療保険制度を理解する	医療保障制度
2	後期高齢者医療制度、被保険者証について理解する	後期高齢者医療制度、被保険者証
3	健康保険法、療養担当規則、薬剤師法を理解する	健康保険法、療養担当規則
4	公費負担医療制度や医療費助成制度、介護保険制度を理解する	公費負担医療制度、医療費助成制度
5	心身両面でのケアを担うこと、心身の基本とクレーム対応を習得する ①	医療人として守るべきこと (守秘義務、個人情報保護法)
6	薬剤料の計算方法等を習得する	薬剤入門
7	調剤報酬と調剤報酬点数表を理解する	調剤報酬、処方箋、調剤報酬点数表(調剤技術料)
8	調剤報酬点数表と調剤報酬の算定と調剤録作成を理解する	調剤報酬点数表(薬学管理料、薬剤料、特定保険医療材料)
9	17 調剤報酬明細書の作成(手順)	調剤報酬明細書の作成の手順
10	調剤報酬明細書の作成(類題)	調剤報酬明細書の作成
11	調剤報酬明細書の作成を習得する	調剤報酬明細書の作成演習
12	調剤報酬明細書の作成を習得する	調剤報酬明細書の作成演習
13	調剤報酬明細書の点検を習得する	調剤報酬明細書の点検練習
14	成績考課試験を実施する	成績考課試験
15	公費負担の明細書と請求を理解する	公費負担の明細書と請求

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	医療保障制度、算定とレセプト+サポートブック、トレーニングブック、学習レポート、レセプト用紙、薬価表(株式会社ソラスト)
参考文献・資料等	
備考	